

# 北広島ふるさと夢プロジェクト便り

令和7年12月  
北広島町内小学校・義務教育学校

## 6年生 夢と希望を乗せて、ロケットを飛ばそう

令和7年9月30日（火）、今年度も北広島町内の6年生児童（111名）を対象に“北広島ふるさと夢プロジェクト事業「夢と希望を乗せて、ロケットを飛ばそう」”を開催しました。

北広島町・北広島町教育委員会と各小学校は、次のことを目指してこの事業に取り組んでいます。

- 植松電機 植松努代表取締役の講演を通して、夢をもち実現することの素晴らしさを学ぶ。
- ロケットを製作し発射させるという感動体験を通して、科学への興味関心を高める。

今年で11年目を迎え、これまでも6年生が学びそして体験してきており、子供たちがとても楽しんでいる事業です。今年度も北海道から植松先生をお招きし、町内小学校6校・義務教育学校1校の6年生がKumahiraPark 北広島に集まっての講演会並びにロケット製作を実施しました。

講演会・ロケット製作の概要や、各小学校でのロケット発射の様子等について紹介します。

### 植松努先生講演会 演題「思うは招く～夢があれば、なんでもできる～」

植松先生は、小さい頃からの夢であるロケット製作を実現するために、ロケットとは関係のない小さな会社で夢と希望を持ってロケットづくりを始められ、その後、幾多の困難を乗り越え、民間では偉業ともいえる宇宙を飛ぶロケット開発を成し遂げられました。子供達は植松先生のユーモアと感動のある話に引き込まれ、将来への夢や希望をもって努力することの大切さを学び、他では得ることができない多くの力強い「言葉」をいただきました。その一例を紹介します。



○夢はたくさんあった方が叶いやすい。たくさん夢を持とう！

○奇跡を起こせるキーワード「ちがうはすてき！」

○人の出会いには意味がある。人は出会うことで簡単に変わることができる。

○お金があったら本を買おう。本には人生が詰まっている。

○新しいことをするために必要なのは「知りたい！」という心

○夢をかなえるために、自分の夢をどんどんしゃべろう！

○未来はわからない。だから未来をあきらめる理由はない。

○「どうせ無理」は自信と可能性を奪う最悪の言葉



### 講演を聞いた児童の感想

植松さんの話で心に残ったことは、「夢はどんどんしゃべろう」というキーワードです。私は、今まで自分が思い描く夢が人に笑われたり、否定されたりしないかと、とても不安でした。しかし、植松さんが話された「夢はどんどんしゃべろう」というキーワードを聞いて、これからはいろんな人に夢をしゃべっていき、自分と夢が同じ人や、似ている人を見つけていきたいと思います。



植松さんは、「あきらめないことの大切さ」を教えてくださいました。私は今まで「どうせ無理」と思っていたことがありません。「あきらめなかったら夢はかなう」というお話を聞き、「あきらめず最後まで頑張ってみよう」と決めました。夢の実現に向けて頑張ります。

### みんなで協力し、夢のロケット完成！

最初は緊張したけど、他校の友達が話しかけてくれて雰囲気が和らぎました。これからは自分がそういう雰囲気を作れるようになりたいです。ロケット作りを通して、学校は違っても同じように頑張る仲間として一緒に活動できて良かったです。



班のみんなで作ったからこそ、失敗せず高く飛ぶロケットができたと思います。初めは緊張して不安だったけどだんだん打ち解けてきて楽しみながら作ることができました。これからも初めて会う人たちと話すときに緊張することもあると思うけど、勇気を出して話してみようという気持ちになりました。

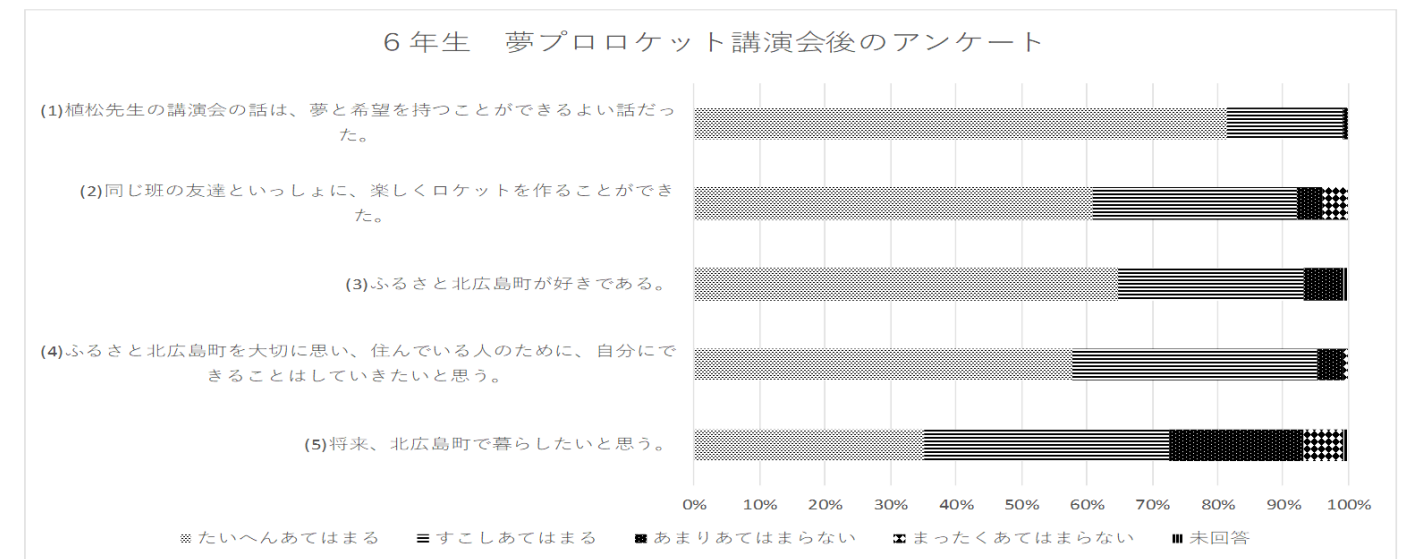
### ロケット製作・発射の様子



ロケット発射の時、みんな、不安だったと思います。ロケットが飛んだ瞬間に不安は消えて、達成感や自信が湧いていました。みんなで助け合ったり、発射の成功を願ったりする気持ちが結果につながったのだと思います。植松先生から学んだ大切なことをずっと忘れずにいたいです。

僕はロケットを打ち上げる時まで、正直自分が作ったロケットが飛ぶのか心配だったし、緊張していました。しかし、いざロケットを飛ばしてみると思ったよりも速いスピードで高く飛び、綺麗にパラシュートが開いて、降りてきました。空高くまで飛んで嬉しかったです。

### 児童のアンケート結果



参加した子どもたちのアンケートでは、「(1)講演会の話は、夢と希望を持つことができるよい話だった」「(2)友達と一緒に楽しくロケット作りをすることができた」「(3)ふるさと北広島が好きである」「(4)ふるさと北広島町を大切に思い、住んでいる人のために、自分のできることをしていきたい」の項目で肯定的評価が90%を超えました。また、「(5)将来、北広島町で暮らしたいと思う」の肯定的評価は72%となり、昨年度のアンケート結果から向上がみられました。昨年より若干高い数値となっており、ふるさと北広島町への愛着心が育ちつつあると言えます。

「夢プロ・ロケット事業」も11年目を迎え、プロジェクトの企画・運営にご尽力いただいた北広島町・北広島町教育委員会の皆様、また運営に携わっていただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

